

問1 奈良時代に設けられた「防人」の制度について述べた文として、当時の社会状況や地理的条件を踏まえた正しい説明はどれですか。 (2017年

埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 主に東国の農民から選ばれ、国防の重要拠点であった九州北部の警備にあたった。 | 2. 大宰府の役人として採用され、大陸からの使節を接待する役割を担った | 3. 朝廷に直接仕える近衛兵として、都の平城京の警護を専門に行った。 | 4. 朝鮮半島から移り住んだ渡来人によって組織され、東北地方の蝦夷を鎮圧した。 |
|--|-------------------------------------|------------------------------------|---|

問2 奈良時代、西アジアやインドを起源とする国際色豊かな文化や宝物が、中国大陸での交易を経て日本へもたらされました。これら多くの宝物が現在まで良好な状態で収められている正倉院の品々に見られるような、内陸アジアや西アジアとのつながりを示す陸上の交易路を何といいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------|------------------|------------|--------------------|
| 1. シルクロード (絹の道) | 2. 茶馬古道 (ちゃばこどう) | 3. アップピア街道 | 4. スパイスルート (香辛料の道) |
|-----------------|------------------|------------|--------------------|

問3 7世紀から9世紀にかけて、日本が唐(中国)に「遣唐使」を派遣した最大の目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 唐と軍事同盟を結び、朝鮮半島へ共同出兵すること | 2. キリスト教の布教を日本で許可してもらうための交渉 | 3. 唐の進んだ制度や文化を取り入れること | 4. 日本の特産品を売って銀や銅などの資源を大量に獲得すること |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------|---------------------------------|

問4 正倉院に伝わる「鳥毛立女屏風」には樹木の下で唐風の衣装をまとった女性が描かれています。このような国際色豊かな文化が栄えた時代において、その時代(天平文化)の特徴を正しく説明している仏教彫刻はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 京都の広隆寺に安置されている、飛鳥時代の渡来人による技術の影響が見られる弥勒菩薩像 | 2. 飛鳥地方を中心に建立された寺院に見られる、北魏様式などの特徴を持つ日本最古の仏像 | 3. 国家を守るという目的のために、力強く写実的な技法で造られた天平様式の仏像 | 4. 平安時代に藤原氏の権力を背景として、平等院鳳凰堂に安置された定朝作の阿弥陀如来像 |
|--|---|---|---|

問5 古代の日本で行われた「口分田」をめぐる仕組みについて、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 律令に基づき、6歳以上の男女に土地を与え、死後は国に返還させる一方で、租や労役の負担を課した。 | 2. 明治時代の地租改正において、地価を記した地券を交付することで土地の所有権を認め、金納の義務を課した。 | 3. 江戸時代の村において、名主・組頭・百姓代といった村役人が中心となって、年貢のとりまとめを行った土地である。 | 4. 室町時代に農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織をつくり、村の共有地として共同で管理・運用した。 |
|--|---|--|---|

問6 大化の改新から奈良時代にかけて確立された、土地と人民はすべて国家のものとする「公地公民」の原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の人々に一律に貸し与えられた土地を何と呼びますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 名田 | 2. 位田 | 3. 口分田 | 4. 墾田 |
|-------|-------|--------|-------|

問7 奈良時代の文化的な特色を示す事例として、正倉院に収蔵されている「瑠璃环(るりのつき)」と呼ばれるガラス製の器があります。このような宝物が現代にまで残されていることは、当時の文化のどのような側面を象徴しているか、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. かな文字の成立に代表されるように、日本の風土や日本人の感情に合わせた国風の側面 | 2. 浄土信仰の広まりにより、平等院鳳凰堂に代表されるような極楽浄土を夢見る貴族的な側面 | 3. 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面 | 4. 地方の豪族が独自に大陸と交易を行い、それぞれの地域で仏教文化を独自に発展させた側面 |
|--|--|--|--|

問8 奈良時代の聖武天皇ゆかりの品や、シルクロードを通じて伝来した国際色豊かな宝物が数多く保管されている、東大寺にある校倉造の宝庫を何というか。 (2022年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|----------|---------|-----------|
| 1. 正倉院 | 2. 法隆寺金堂 | 3. 登呂遺跡 | 4. 平等院鳳凰堂 |
|--------|----------|---------|-----------|

問9 古代の律令国家が実施した軍事制度において、主に東国の農民が徴兵されて九州北部の警備にあたった「防人(さきもり)」について、その役割や背景を説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---|
| 1. 律令制度が崩壊したあと、地方の武士団が領地を守るために自主的に結成した | 2. ロシアの南下に備えるため、北方の防衛と土地の開拓を兼ねて配置された | 3. 平安時代に地方の治安が乱れたため、有力な農民の子弟が都の警備のために組織された | 4. 白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅の侵攻に備えるために大宰府などの要所に配置された |
|--|--------------------------------------|--|---|

問10 奈良時代に編纂された書物のうち、中央政府の正史としてまとめられた『日本書紀』や『古事記』と比較した際の、『風土記』の特徴として適切な説明はどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|--|
| 1. 律令制度に基づく税の徴収を目的として、各地の戸籍や土地の面積を詳細に記した。 | 2. 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。 | 3. 天皇の系譜や国家の成り立ちを、神話や伝説を交えて年代順に体系化した。 | 4. 万葉仮名を用いて、天皇から防人、農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌をまとめた。 |
|---|---|---------------------------------------|--|

問11 奈良時代の聖武天皇の時期を中心に栄えた、仏教の厚い信仰や遣唐使がもたらした大陸の進んだ文化の影響を強く受けた、国際色豊かな文化を何といいますか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 飛鳥文化 | 2. 弘仁・貞観文化 | 3. 国風文化 | 4. 天平文化 |
|---------|------------|---------|---------|

問12 大宝律令などの制定によって整備された律令国家の行政組織において、太政官と八省が果たした役割の背景として、最も適切な記述はどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 武士の台頭に対抗するため、太政官の下に置かれた八省が独自の軍事権を持ち、各国の守護を指揮する体制を整えた。 | 2. 天皇を中心とした中央集権的な統治を実現するため、太政官が合議によって政策を決定し、八省が専門的な実務を遂行する仕組みとした。 | 3. 地方の有力豪族が世襲で太政官の役職を独占することで、中央政府が地方自治に干渉できないようにする仕組みとした。 | 4. 国民が選挙によって八省の長官を選出する民主的な仕組みを導入することで、太政官による独裁を防ぐ目的があった。 |
|--|---|---|--|

問13 奈良時代、聖武天皇は社会の混乱を鎮めるために、仏教の力で国家を守ろうとする「鎮護国家」の思想に基づいた政策を推進しました。この政策に関する当時の社会背景と具体的な取り組みの説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 武士の台頭による戦乱を鎮めるため、地方の豪族に独自の寺院を建立させ、武器を回収した。 | 2. 天然痘の流行や政情不安を背景に、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、東大寺に大仏を造立した。 | 3. 遣唐使の廃止に伴う独自の国風文化の発展を目指し、貴族の邸宅に大規模な仏像を安置した。 | 4. キリスト教の伝来による思想的な対立を解消するため、新しい經典を全土に配布した。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 主に東国の農民から選ばれ、国防の重要拠点であった九州北部の警備にあたった。	防人は、当初は全国から集められましたが、後に主に東国（現在の関東地方など）の農民がその任にあたることとなりました。派遣先は太宰府の管轄下にある九州北部であり、家族と離れて遠方の国境を守るという重い負担は、当時の農民を苦しめる要因の一つとなりました。東北の蝦夷対策にあたったのは主に「鎮守府」などに配属された兵士であり、防人とは区別されません。
問2	答え 1 シルクロード（絹の道）	古代の中国と西アジア、そしてヨーロッパ方面を結んだ陸上の交易路をシルクロードと呼びます。このルートを通じて、西アジアやインドの楽器、意匠、技法が中国へ伝わり、さらに唐との交流が盛んだった奈良時代の日本にももたらされました。正倉院にはその当時の国際交流を裏付ける品々が数多く保管されており、「シルクロードの終着点」とも称されます。
問3	答え 3 唐の進んだ制度や文化を取り入れること	当時の日本は、強大な中央集権国家であった唐の法律（律令）や仏教、芸術などを学ぶことで、日本の国家体制を整えようとしていました。この使節団には、役人のほかに最澄や空海のような学問僧、さらには留学生も多く含まれていました。
問4	答え 3 国家を守るという目的のために、力強く写実的な技法で造られた天平様式の仏像	奈良時代の天平文化は、唐の文化や仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化です。この時代の仏像は、鎮護国家の思想に基づき、国家の安泰を願って造られました。広隆寺の弥勒菩薩や飛鳥地方の仏像はそれ以前の飛鳥時代の文化、平等院の阿弥陀如来像は後の平安時代（国風文化）の仏像であり、制作された背景や目的が異なります。
問5	答え 1 律令に基づき、6歳以上の男女に土地を与え、死後は国に返還させる一方で、租や労役の負担を課した。	口分田は、律令国家が民衆を直接支配し、安定した税収（租）や労働力（労役）を確保するために整備された制度です。土地はあくまで国家から一時的に貸し出されたものという位置づけであったため、売買は禁止されており、本人の死後は再び国に返すという原則がありました。
問6	答え 3 口分田	律令制度のもとでは、政府が国民を管理するために戸籍を作成し、それに基づいて「班田収授法」という仕組みを運用しました。このとき、人々に分け与えられた土地が口分田です。口分田を与えられた人々は、その対価として収穫の約3%を「租」として納める義務を負い、本人が死亡した際には土地を国に返還することが定められていました。
問7	答え 3 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面	正倉院には聖武天皇ゆかりの品々が納められていますが、そこには唐の製品だけでなく、ペルシャ（イラン）など西アジアに由来する意匠や技法を用いた宝物が含まれています。これは、当時の日本が唐を中心とした国際交流ネットワークの中に組み込まれており、世界各地の文化が流入していたことを示しています。選択肢にある国風文化や浄土信仰に基づく建築などは、のちの平安時代の特色です。
問8	答え 1 正倉院	聖武天皇の死後、光明皇后がその遺愛品を東大寺に納めたことが始まりです。校倉造という高床式の構造により、湿気などから宝物が守られてきました。法隆寺金堂は世界最古の木造建築群の一部、登呂遺跡は静岡県にある弥生時代の遺跡です。
問9	答え 4 白村江の戦いで敗北後、唐や新羅の侵攻に備えるために大宰府などの要所に配置された	663年の白村江の戦いで日本（倭）が唐・新羅の連合軍に敗れたあと、報復の侵攻を恐れた政府は、九州北部の警備を強化するために防人を配置しました。万葉集には、過酷な兵役に従事した農民やその家族の心情を詠んだ「防人歌」が収められており、当時の人々の苦労を今に伝えています。
問10	答え 2 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。	風土記は、中央から派遣された国司がその国の情報をとりまとめたものです。朝廷が各地域の資源や文化を把握しようとした目的が背景にあります。一方で、日本書紀や古事記は天皇中心の国家形成の正当性を説くための歴史書であり、記述の対象や目的が異なります。
問11	答え 4 天平文化	聖武天皇は仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想を掲げ、東大寺の大仏建立などを進めました。この時代は遣唐使によって唐の優れた制度や文化、さらにはシルクロードを経由して西アジアやインドの文化までが日本にもたらされたため、非常に国際的な特色を持つ文化が形成されました。
問12	答え 2 天皇を中心とした中央集権的な統治を実現するため、太政官が合議によって政策を決定し、八省が専門的な実務を遂行する仕組みとした。	律令国家の目的は、中国（唐）の制度を参考に、天皇に権限を集中させた中央集権体制を築くことにありました。太政官は大臣や大納言といった高官の合議によって国政の重要事項を審議・決定し、その決定に基づいて八省が戸籍の作成（民部省）や役人の養成（式部省）などの実務を担いました。これにより、全国を体系的に支配する組織構造が作られました。
問13	答え 2 天然痘の流行や政情不安を背景に、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、東大寺に大仏を造立した。	聖武天皇の時代には、天然痘の猛威による人口減少や、貴族間の激しい政争、飢饉といった深刻な社会不安が続いていました。このような危機的な状況を仏教の信仰によって克服し、国家の安定を図ろうとしたのが「鎮護国家」の思想です。この目的を達成するため、各令制国に国分寺・国分尼寺を置く制度を整え、その総本山として平城京の東大寺に巨大な盧舎那仏（大仏）を造立しました。